

「青森県二一世紀の水産を創造する会」設立

平成17年6月16日に発起人会を開催した「青森県二一世紀の水産を創造する会」が、6月27日水産ビルにおいて組織会を開催し、正式に発足した。

設立趣意、役員は次のとおり。

【設立趣意】

本県水産業は、県民や国民への水産物の安定的供給を通じ、健康的で豊かな食生活の一翼を担うとともに、地域経済や社会の発展に寄与するという極めて重要な役割を担っている。しかしながら、本県水産業を取り巻く環境は、周辺水域の資源減少、輸入水産物の増大、魚価の長期にわたる低迷、就業者の益々の減少と高齢化、漁業後継者の慢性的不足等、極めて厳しい状況にさらされている。

- なかでも、
1. 漁業生産の基盤たる資源の持続的調和に配慮しつつ、関係漁業者が共存できる漁場の適切な管理と利用に関する事項
 2. 多様化する消費者の需要に即した漁業生産と、効率的な漁業経営確立のための水産

金融対策の一層の充実に関する事項

3. 適正な事業経営を行うことのできる漁業協同組合を育成し、その健全な発展に資するため、漁業協同組合の合併促進に関する事項
4. 本県に於ける水産加工品の原材料供給事情や貿易事情の変化に対応し、今後の新たな水産加工品の開発もしくは加工に関する事項

の4項目の解決は、今後の本県水産業活性化への喫緊の課題である。

したがって、これら事項について、今後のあべき姿の明確化を図ることは、二一世紀における本県水産業の創造を意味するとの強い認識に立ち、ここに「青森県二一世紀の水産を創造する会」を設立し、真摯な検討のもと、漁業に対する信頼の回復、生きがいのある漁業ならびに漁村の新たな創造を会の使命として、関係各界に対し責任ある提言を行い、その責務を明らかにせんとするものである。

【役員等】

会長	佐藤 立治	県水産振興会常務理事
副会長	後藤 亮丞	県水産振興会理事
理事	山本 政廣	西北水産振興会会長
〃	三津谷廣明	むつ湾漁業振興会会長
〃	川端 昭治	下北水産振興会会長
〃	赤石 憲一	青森県東部海域漁業協 議会会長
監事	久保澤 正	県漁連専務理事
〃	長谷川公康	県信漁連専務理事
相談役	植村 正治	県漁連代表理事会長
〃	古川 俊	県信漁連代表理事会長
〃	福島 哲男	県漁船保険組合長理事
〃	奈良岡修一	県農林水産振興企画監
〃	石原 英司	大日本水産会専務理事